

かけはし



IIA presents
世界の昭和



Discover TANABATA

日本語の教え方セミナー



Learning Japanese culture tour

Filipino
cooking seminar





にほんぶんかりがい せいかつじょうほうがくしゅう 日本文化理解と生活情報学習ツアー

かんきょう センターと びさいれきしみんぞくしりょうかん
環境センターと尾西歴史民俗資料館
きゅうはやしけじゅうたくけんがく がつ にち
および旧林家住宅見学バスツアー 5月18日

にほんご 日本語ひろばとVEGA日本語学校の生徒37
名とボランティア・スタッフを含め総勢49名で国
際交流協会主催の市内バスツアーが開催され
ました。

むかいやま かみやま びさいさんじょう かききょうしつまえ せいと
向山、神山、尾西三条の各教室前で生徒を
ピックアップし、最初の目的地・環境センター
に午前10時ごろ到着しました。研修室に集ま
り、まずは英語・ベトナム語・中国語・日本語と
言語グループの振り分けを行いました。セン
ターの平山さんから見学にあたっての注意事
項の説明のあと、早速センター内を見学しまし
た。

さいしよ プラットホームというゴミ収集車がゴ
ミをピットへ落とす大きな扉について見学通
路から説明を受けました。一日にゴミ収集車
33台が市内とセンターを何往復もし、その他
に一般市民や業務ゴミの直接搬入を含め一日
平均約265トンのゴミが毎日搬入されるそう
です。

つぎ 中央制御室で炉の燃焼モニターを見学
した後、燃えた灰の処理施設、燃やした熱で発
生する蒸気を利用する発電施設、エコハウス
138の温水プールへ温水を供給する施設など
5階建てのセンターをくまなく見学しました。

さいご 最後には最初に見たプラットホームの中の
ピットを5階
から見下ろし、
クレーンで炉
ホッパーへ投
入する作業も
見せてもらい



ました。クレーンは24時間無人自動運転がされて
いることに、一同関心を持って見入っていました。

研修室に戻り、ゴミの出し方、特にリチウム
電池は火災が発生する恐れがあり、捨て方に
は万全の注意が必要との説明を受けました。

けんしゅうしつ ちゅうしよく おこし び
そのまま研修室で昼食をとり、バスで起の尾
西歴史民俗資料館へ移動しました。江戸時代
には起宿は東海道のバイパスとして栄えたこ
と、江戸幕府

にベトナムか
らゾウが献
上されたこ
となど、詳し
く説明を受



け、ベトナム出身の生徒は昔から日本との交流
があって、ゾウが木曾川を渡ったことに驚いて
いました。



きゅうはやしけ
旧林家
じゅうたく にわ
住宅は庭
がきれい
で、皆さん
その場所
を離れた

くない様子で日本庭園を楽しんでいました。中
でも手水鉢のしずくが落ちると美しい琴の音
色を出す水琴窟は初めてで、交代でその音色
を聞いていました。庭園散歩に時間を割いて、
予定より15分延長の滞在で今回のツアーは
終了、元の集合場所まで戻りました。

今回のツアーは日頃市内に住んでいてもな
かなか行かない所で、参加者はとても満足し
楽しんでいました。また今回のような企画が
あるといいと思いました。(あんちゃん)



いぶんかりょうり 【異文化料理セミナー】フィリピン料理セミナー

かみやまこうみんかん りょうりじっしゅうしつ がつ にち
神山公民館 料理実習室 6月21日

6月21日、国際交流員のキアラさん、アリスさん、講師の杉山エルビーさんによる、フィリピン料理セミナーが開催されました。

今回作ったのは、「アドボン・バボイ」と「トゥロン」の2種類です。初めて聞く名前の料理…さて、どんな料理でしょう。

机の上には見たことのない調味料「フィリピンビネガー」と「シルバースワンソース」、そして調理用バナナ…。わくわく♪



一品目の「アドボン・バボイ」とは、アドボン（煮物）+バボイ（豚肉）=煮豚です。ニンニクを炒め、お肉とフィリピンの調味料などを入れて煮込むだけ!とっても簡単!!

「フィリピンビネガー」はお酢で、日本のもの

よりまろやか。「シルバースワンソース」はしょうゆで、南国独特の香り…。調理が進んでいくにつれて、フライパンのフタからあふれ出すいい匂いが…。

器に盛り、待ちに待った美食…。煮込んだお肉とニンニクがいいアクセント!! めちゃめちやご飯が進み、12合炊いたお米もあっという間に空っぽに!! 参加者さんからもとっても美味しいとの声や、家でも作ってみますとの声!! 調味料は市内スーパーで手に入りますよ★

もう一品の「トゥロン」は、調理用バナナを砂糖で絡めて、春巻きの皮で巻いて揚げ焼きに!! こちらもあっという間に作れます。食べてみると、日本のバナナ感はずっとなく、口にした瞬間、芋!! 腹もちもよく、デザートにgood!!

フィリピンの文化、料理を通して、参加者さんの笑顔がたくさん見ることができました。

(なみへい)



にほんご おし なた 日本語の教え方セミナー

むかいやまこうみんかん だいかいぎしつ がつみつか
向山公民館 大会議室 8月3日



外国人と交流しながら日本語や文化を教える「日本語ひろば」のボランティアを対象にしたセミナーが開催されました。講師は「公益財団法人名古屋YWCA」の仲村佳子さん。

セミナーは事前アンケートで最も多かった困りごとである「日本語が全くできない学習者にどう教えるか」を主題に取り上げ進められました。講師からは「いろは日本語の会」や「名古屋

YWCA学院日本語学校」でどのような教え方をしているかに加え、実際に使っている教材の紹介など事例でわかりやすく説明がありました。その後の質疑応答の時間では、受講者からいろいろな質問や意見が出ていました。

今回のセミナーはボランティア同士、また事務局も含め、意見を共有していくいい機会になったのではないかと思います。(katsu)



IIA presents 世界の昭和

i-ビル3F シビックテラス セタステージ 7月24日

第70回おりの感謝祭一宮七夕まつりが7月24～27日の4日間開催されました。シビックテラスの特設ステージでは一宮市国際交流協会が初日24日のトップバッターを受け持ちました。今年は昭和百年にあたる年でテーマは「世界の昭和」。海外の演奏者や海外で経験を積んだ演奏者・ダンサーたちに「世界の昭和」を国際色豊かに披露してもらいました。

1組目は、イタリア・シチリア島出身のサルヴァトーレ・ピーエディスカルツィさんと松江有希子さんによるバイオリンとキーボードのデュオ演奏。イタリアで日本の昭和の時代にはやったカンツォーネ、そしてシチリア島を舞台にした映画音楽や日本の名曲「川の流れるように」の演奏に大きな拍手が送られていました。

2組目は岐阜を拠点に全国で活動しているネシェ・ベリーダンススタジオのダンサー6人によるベリーダンス。美しいトルコの衣装をまとい、昭和の時代1960～70年代にトルコのナイトクラブ



やジプシーの街などではやっていた音楽に合わせて、華麗な舞で観客の目を楽しませてくれました。

3組目はDuo Marroon。一宮市出身の袴田美帆さんと犬飼裕哉

さんによるサクソフォンとキーボードのデュオ演奏。フランスやアメリカではやった素敵な曲を演奏してくれました。

また、同じく一宮市出身でミス・ユニバース・ジャパン2025プレリナリー愛知代表の川野利花子さんが友情出演し、ステージに花を添えてくれました。

出演者からは、「演奏していてすごく楽しかった。また呼んでほしい」、「ステージが広くて開放的で良かった」など、また観客からも、「ステージはとても素晴らしく楽しかった」など、皆さん喜んでいました。

初日の最初のステージだったので、初めは観客が少なかったがだんだん増えて賑やかになり、とても楽しい「世界の昭和」になったと思います。来年は最初からもっとたくさん人が来てくれるといいですね。

(katsu)



英語放送アナウンサーボランティア体験談

高校3年生 福澤 史琉 さん

「学んだ英語を使って、社会に貢献したい」、その想いで挑戦した今回の英語放送ボランティア。これまで十何年過ごしてきた一宮という街で、七夕まつりという一大行事のボランティアとしてサポートをすることができ、感慨もひとしおです。

当日は案内所放送、熱中症予防の放送などを、日本語と英語で数十分ごとに行いました。

自分の声が会場内に響くのを聞いて、本当に届いているのだと実感し、まつりを創る一員になった感じがしました。もう一人の担当の方と協力して、英語放送を楽しむことができ、とても良い経験になったと感じています。



たいけんだん [Discover TANABATA]ボランティア体験談

つうやく ほんやく
通訳・翻訳グループリーダー なかの さやか さん

ことし たなばた がいこく ゆかた
今年の七夕まつりで、外国のゲストに浴衣を
き いっしょ たの
着せて一緒に楽しむイベントにボランティアとし
さんか
て参加しました。



わたし たんとう き ふだいがく じんりゅうがくせい
私の担当は岐阜大学のインドネシア人留学生
めい いろ ゆかた に あ じ ど
5名で、色とりどりの浴衣がよく似合い、自撮り
の たの すがた かわい しゅうきようじよう り
を楽しむ姿が可愛らしかったです。宗教上の理
ゆう ながそで ちゃくよう あつ しん
由でヒジャブや長袖を着用しており、暑さが心

ばい さいご げん き たの
配でしたが最後まで元気に楽
しめました。ハラル食品※しか
くち しよくひん
口にできないため屋台料理を
あじ やたいりょうり
味わえなかったのは残念でし
ざんねん
たが、盆踊りでは「楽しい！」
ぶんおど つづ がくせい
と30分踊り続ける学生もいて、
にほん ぶんか ぞんぶん たの
日本文化を存分に楽しんでくれました。



かいわ
ゲストと会話しながら
たなばた ある なか
七夕まつりを歩く中で、
にほん ぶんか よ あらた
日本文化の良さを改め
て感 じました。貴重な経
験をありがとうございました。



※ハラル食品…イスラム法で食べてもよいとされている食品のこと。

なつやす 夏休みホームステイ体験談

なかはら
中原さんファミリー がつ にち がつ にち
8月15日～ 8月17日

この夏、ネパールから来たスワディシュさんと
なつ きた
ビベクさんを3日間ホームステイで迎えました。
みつかん むか
初日は友人家族を招き、手巻き寿司のウェル
しよにち ゆうじんかぞく まね て ま ず し
カムパーティーでにぎやかに交流。2日目はサッ
こうりゅう ふつかめ
カーやバレーボールで体を動かし、午後には長良
かわ かわあそ ぐじょうはちまん かんこう たの
川での川遊びや郡上八幡の観光を楽しみまし
た。3日目にはネパールの朝ヨガを教えていただ
みつかめ あさ おし



きました。その後、尾
しゅう ち いき おりもの あみものこう
州地域の織物・編物工
じょう はしまし だいぶつ けん
場や羽島市の大仏を見
がく ぎょうざ
学。おはぎや餃子づく
しゅうじ ちようせん
り、習字にも挑戦しま
した。



ふたり たいざいちゅう わ
二人は滞在中、我が
や さい むすめ つね あそ
家の3歳の娘と常に遊
ことば こ
んでくれ、言葉を超え
あた こうりゅう すがた いんしやうてき ぶんか
た温かな交流の姿がとても印象的でした。文化
ちが おどろ ばめん いじよう そう
の違いに驚く場面もありましたが、それ以上に相
ご り かい ゆうじよう ふか ぎちよう じかん
互理解と友情が深まる貴重な時間となりました。

この経験を通じ、相手の国への理解が深まる
どうじ じぶん ちい き みりよく あらた き
と同時に、自分たちの地域の魅力にも改めて気
づくことができました。今後もこうした活動が広
こんご かつどう ひろ
がり、国際交流の輪がさらに大きくなることを
こくさいこうりゅう わ おお
願っています。

せかい 世界をあそぼう！フレンドシップフェスティバル

i-ビル3F シビックテラス 9月23日

毎年恒例になりましたフレンドシップフェスティバルが今年は尾張一宮駅前のi-ビルで開催されました。毎回、各国の楽しい体験や、世界のステージを楽しめる催しです。各ブースを回ってスタンプを3個もらって外国のお菓子をプレゼントされるとの企画も手伝ってか、今年は一段と盛り上がりを見せ、老若男女すべての人が楽しいひと時を過ごせたと思います。

会場の中央に各国の民族ダンスステージと60人ほどの席が用意されていました。その脇に3か国の体験コーナーと、ステージの向かいには様々な国の衣装を着て写真を撮る民族衣装コーナーがありました。

体験コーナーではベトナムのボード

ゲームや、ニュージーランド(NZ)のかわいいフィンガーパペット手芸、NZの動植物が描かれたカードでの神経衰弱ゲーム、毎年人気の高いイタリアのヴェネチアンマスク作りや、イタリア語を学べるブースがありました。



中でもベトナムのボードゲームは日本のすごろくに近いものでしたが、ボードのゴールを目指すものではなく、ぐるぐる回って、ボード上でお金を集め、ゾウ、馬、鳥を購入し、たくさん集めた方が勝ち、というゲームでした。ゲストの子どもの中には長時間にわたり何回もゲームをやり続けていた子もいました。ゲームに国境はあ

りませんね。

民族衣装を着て写真を撮るコーナーでは、子どもだけでなく大人も衣装を着て楽しむ姿が見られました。10時の開場から人が集まり始め、



17時の閉場までたくさんの方が思い思いに写真を撮っていました。

中央のステージではウズベキスタン出身の留

学生によるお国紹介から始まり、アメリカのタップダンス、午後からはフラダンス、フラメンコ、最後にキューバのサルサダンスが披露されました。一宮近隣で各ダンスを習得している人のパフォーマンスで、練習の成果が出て、会場の皆さんも盛り上がっていました。

最終のダンスは観客も交え全員参加でした。サルサ調にアレンジしたABBAのDancing Queenの曲をお年寄りも楽しく踊ることができ、やさしい振付で、フェスティバルの最後を飾りました。



大成功のうちに終了した催しでした。スタッフはじめ、ボランティアの皆さま、本当にお疲れ様でした。(あんちゃん)

おとなりさん



ヴィエット・トゥアンさんと奥さんのグエン・ティ・ハーさんを紹介します。

二人はベトナムに
いるころ、互いに朝
のジョギングをして
いて知り合い、結婚
したそうです。ベト
ナムでは結婚しても

夫婦別姓が一般的で、同じ姓にするのはおじいさんの代ぐらいまでだったそうです。その後、ベトナムで車の整備工場に働いていたトゥアンさんが、日本の車の高い技術を学んでみたいと2019年に技能実習生として来日。そこから特定技能1号の試験を受け、3年前に一宮の自動車整備工場に就職しました。ハーさんもトゥアンさんを追って技能実習生から特定技能となり一宮にやってきたのだそうです。

一宮の印象をお聞きすると、お店が近いし交通も便利で住みやすくていい街ですと、二人でに

こやかに答えてくれました。せっかく日本に
いるのだからとスノーボードにチャレンジしたり、花
火や夏祭りなどに出かけたりしたそうです。今年
の一宮七夕まつりでは盆踊りに参加し、コスプレ
パレードで鬼滅の刃の伊之助に扮していた人に
声をかけて一緒に写真を撮ったのだとか。また
トゥアンさんは根っからの車好きで、一宮
に来てから免許を取り、車も買って、大阪や友人
のいる茨城など遠くへも車で行ったそうです。車
は中古のスバルで、軽自動車だけど4気筒なん
ですと嬉しそうに話してくれました。

ハーさんは現在妊娠5か月で、市役所で母子手
帳をもらい、妊婦検診に行っているそうです。つわ
りのひどい時は3週間ほど休みがもらえたり、病
院の先生たちもやさしいと聞いて安心しました。
ハーさんは赤ちゃんの出産はベトナムでと考えて
いて、それを機にベトナムに戻りたいと話してい
ました。トゥアンさんもゆくゆくはベトナムで自動車
整備の仕事がしたいとのことで、やはり家族のい
るところで暮らしたいのかなと思いました。(日野)

※2025年8月取材

lia information

日本語の教え方セミナー

① 外国人児童生徒に対する日本語の教え方を
学べます。

▼ 日 時 / 12月13日(土曜日) 午後1時～3時
▼ 場 所 / 神山公民館 大会議室

② 大人の外国語を母語とする方に対する日本
語の教え方を学べます。

▼ 日 時 / 12月20日(土曜日) 午後1時～3時
▼ 場 所 / 神山公民館 大会議室



申込はこちら

English Free Talk

市国際交流員や参加者同士で英会話を楽
しみます。

▼ 日 時 / 12月12日(金曜日)
午後6時～7時

▼ 場 所 / 神山公民館 大会議室



申込はこちら

国際交流ふれあいボウリング

日本国籍の方と外国籍の方が一緒にチ
ームを組んでボウリングを楽しみます。

▼ 日 時 / 2026年1月18日(日曜日)
午前10時30分～午後0時15分

▼ 場 所 / アソビックスびさい



申込はこちら

祝おう！旧正月2026

旧正月を祝う国(ベトナム、中国、韓国等)の民族衣装や伝統遊び、
クラフトを体験したり、ステージパフォーマンスを楽しめます。

▼ 日 時 / 2026年2月8日(日曜日) 午前10時30分～午後4時30分

▼ 場 所 / イオンモール木曽川 1Fノースコート



*各イベントの詳細につきましては後日ウェブサイトにて公開いたします。

あい ちきゅうはく さい
愛・地球博 20 祭

ち きゅうだい こうりゅう

地球大交流フェスタ

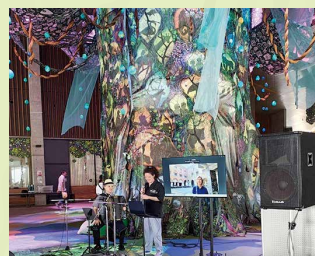
あい ちきゅうはくきねんこうえん なぐ て し がついつか がつむいか
愛・地球博記念公園(長久手市) 7月5日~7月6日



が につ 7月5・6日に愛・地球博記念公園で開催された「地球大交流フェスタ」に、一宮市国際交流協会も出展しました。

ブースでは、トレビーズ市との交流を紹介するパネルや、イタリアから贈られた品々を展示しました。さらにクイズラリーも実施し、全問正解するとガチャガチャに挑戦できる仕組みで、来場者に楽しんでいただきました。一宮市からも多くの方が遊びに来てくれました。

2日目のステージでは、イタリア出身のアンジェロ・アフィリーニさんがアコーディオンを演奏し、その演奏に合わせて元国際交流員のリーザさんがトレビーズ市からオンラインで出演してくださいました。会場とトレビーズ市をつなぐ生中継となり、普段は見えないイタリアの風景を見ることができました。



▲アンジェロさんの演奏とリーザさんのオンライン中継

あいちけんきょういっくいいんかい
【愛知県教育委員会からのお知らせ】

県立いちのみや中学校(夜間中学)の生徒を募集します。



らいねん がつ いちのみやこうこうない やかんちゅうがく かいこう
来年4月、一宮高校内に夜間中学が開校します。

- 入学できる人／愛知県に住んでいる、または、働いている会社があり、満15歳を超えた人のうち、次の①または②に当てはまる人

①日本または海外で義務教育を終えていない人

②不登校など様々な事情によって十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人

- 面談申込期間／9月17日(水曜日)~12月5日(金曜日)
- 生徒募集期間／10月1日(水曜日)~12月12日(金曜日)
- 学校紹介パンフレットや入学願書は、一宮市役所4階の学校教育課等に置いてあります。また、いちのみや中学校ホームページからダウンロードできます。

- お問い合わせ先／愛知県教育委員会あいちの学び推進課新しい学校づくりグループ TEL 052(954)6315



ホームページはこちら ▲

編集後記

子供の頃、なぜか体温より気温が高くなると生きていられないと思い込んでいた。だから、エジプト旅行に行った人から気温が40度を超えていて日陰に入るとホッとしたという話を聞いたときには、凄く驚いたのを覚えている。今年、日本はとびきり暑かった。連日の体温を超える気象ニュースも熱中症警戒アラートも見慣れてしまった。それでも元気に夏を乗り越えることができた。自分の体が過酷な環境でも生きていけるように、まだ進化しているようでちょっぴり嬉しかった。(伏原)

発行：一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市役所本庁舎9階 観光交流課内)

- 一宮市の国際交流協会の中心となって活躍いただく親善ボランティアを随時募集しております。
- みなさんも親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。
- *この「かけはし」も親善ボランティアにより取材・編集されています。
- ご意見・ご感想をお待ちしております。【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】
- 当協会に関する情報はウェブサイトをご覧ください。【WEB:https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iaa/】